

## ～水辺を活かした賑わいづくりシンポジウム in Kumamoto～

## 第4回アジア・太平洋水サミット関連イベント

今年4月に、「第4回アジア・太平洋水サミット」が熊本市で開催されます。

本シンポジウムは、「第4回アジア・太平洋水サミット」の関連イベントとして、身近な水辺空間の利活用を題目として開催いたします。

シンポジウムでは、地域で活動頂いている方を交えて意見交換し、これまでの白川「緑の区間」の取り組みをふまえて、水辺の活用の可能性を探ります。

## 【開催概要】

## ■日時

2022年2月12日（土） 13:30～15:30

## ■場所

熊本城ホール3F A3・A4会議室

〒860-0805

熊本県熊本市中央区桜町3番40号

## ■定員

80名（先着順）

## ■対象者

どなたでも ※ただし事前申し込みが必要です

## ■参加料

無料

## ■その他

YOUTUBEでLIVE配信いたします。



YouTube  
はこちらから

※なお、開催にあたっては新型コロナウイルス対策等を十分講じて開催しますが、場合によっては、全面WEB・延期・中止等もあり得ますので、予めご了承ください。

## 《問い合わせ先》

国土交通省九州地方整備局 河川環境課	課長	上村 雅文（内線：3651）
	建設専門官	藤岡 慎介（内線：3652）
	電話番号	代表：092-471-6331

# 水辺を活かした賑わいづくりシンポジウム in Kumamoto

日時	2022 <b>2/12</b> (土) 13:30 ~ 15:30
場所	熊本城ホール 3F A3・A4 会議室
定員	80人 (先着順)
対象	どなたでも! *ただし事前申し込みが必要です
参加料	無料

YouTubeで  
Live 配信します!



#本イベントは  
「第4回アジア・太平洋水サミット」の  
関連イベントとして開催いたします

## 「第4回アジア・太平洋水サミット」について

2022年4月23日(土)～24日(日)に熊本城ホールにて開催予定。  
アジア太平洋地域の49カ国が集まり、深刻化する水問題について課題の解決を図るために話し合う国際会議で、「持続可能な発展のための水～実践と継承～」がメインテーマとなっています。

PR動画はこちら→



## 第一部 基調講演「白川『緑の区間』の取り組みとデザイン」



### 講師

熊本大学  
くまもと水循環・減災研究教育センター  
准教授  
星野 裕司 氏

## 第二部 パネルディスカッション「水辺を活用した賑わいづくりの可能性」



### コーディネーター

熊本大学  
熊本創生推進機構  
准教授  
田中 尚人 氏



### パネリスト

熊本大学  
くまもと水循環・減災研究教育センター  
准教授  
星野 裕司 氏



### パネリスト

城見町全栄会 会長  
南 良輔 氏



### パネリスト

(株) Shirakawa Banks 代表  
ジェイソン・モーガン 氏



### パネリスト

熊本市 中央区長  
星子 和徳 氏



### パネリスト

国土交通省  
九州地方整備局  
河川部 河川環境課 課長  
上村 雅文 氏



## 当日プログラム

12:30 ～ 一般受付開始

13:30 ～ 開会挨拶

13:40 ～ 第一部 基調講演「白川『緑の区間』の取り組みとデザイン」

14:10 ～ 休憩

14:20 ～ 第二部 パネルディスカッション「水辺を活用した賑わいづくりの可能性」

15:30 ～ 閉会

## 講師のご紹介



熊本大学  
くまもと水循環・減災研究教育センター  
准教授  
**星野 裕司 氏**

1971年 東京生まれ  
1996年 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 修士課程修了  
1996年4月 - 1999年3月 株式会社アブル総合計画事務所  
2005年 博士（工学）取得（東京大学）  
2006年 熊本大学大学院自然科学研究科准教授  
2017年より現職

## コーディネーターのご紹介



熊本大学  
熊本創生推進機構  
准教授  
**田中 尚人 氏**

1971年 京都生まれ  
1998年 京都大学大学院工学研究科環境地球工学専攻  
博士後期課程中退、博士（工学）。同専攻助手。  
2003年 岐阜大学工学部社会基盤工学科講師  
2006年 熊本大学大学院自然科学研究科准教授  
2010年より現職

## お申し込み方法

2月7日（月）17時までに、1. 氏名（フリガナ）、2. 電話番号、3. メールアドレスを記載の上、メール（jimukyoku@kensetsukankyo.co.jp 宛）でお申し込み下さい。（件名に「関連イベント申し込み」と記載）折り返し受付完了のメールを送信致します。先着順のため定員に達した場合は、参加をお断りする場合がありますので、予めご了承ください。

\*複数人で申し込む場合は申込者全員分の記載をお願いします。

お申し込みの際に提供された個人情報は、目的外には使用いたしません。

（新型コロナウイルスが確認された際には、提供された個人情報を保健所等に提供する場合がありますのでご了承ください）

お問い合わせ先：国土交通省 九州地方整備局 河川部河川環境課 TEL 092-476-3525



## 新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症の状況により、中止または開催方法を変更する可能性があります。

会場では新型コロナウイルス感染症予防対策を実施しています。

参加の際はマスクの着用の上、対策へのご理解、ご協力をお願いします。

なおご協力いただけない場合、ご入場をお断りする、または退場していただく場合もございます。

（ご来場前に体調チェックをお願い致します）

厚生労働省の新型コロナウイルス接触確認アプリ（略称：COCOA）のインストールをお願いします。

iPhoneはこちら

Androidはこちら

## 新型コロナウイルス感染症対策に関するお願い

本イベントのお申込み、ご来場にあたっては下記の注意事項をご一読のうえ、新型コロナウイルス感染症対策にご理解、ご協力をお願いいたします。注意事項に記載のある内容や、当日スタッフのお願いにご協力いただけない場合、入場できない又は退場をお願いすることがあります。なお、リスクレベル、周辺地域での感染状況等によってはイベント等の中止や開催方法を変更する可能性等もありますので、予めご了承ください。

注意事項
<b>▶開催前（事前周知）について</b>
イベント等の中で感染者が発生した場合、保健所の聞き取り調査にご協力ください。
濃厚接触者となった場合は、接触してから2週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性があります。
発熱、具合の悪い方など自覚症状のある方については入場を認めない場合がございます。
イベント参加の際は事前に接触確認アプリのインストールをお願いします。
イベント等の前後においては、交通機関・飲食店等に並ぶことを避け、密集を回避するご協力をお願いいたします。
本イベントの事前予約時に連絡先の記入をお願いいたします。なお、本イベントにより得られた個人情報は目的以外には使用いたしません。
<b>▶会場の環境について</b>
密閉空間とならないよう会場ドアの開閉等定期的な換気を実施しております。
会場内では講師・登壇者と来場者の距離や、来場者間の十分な間隔を確保する対策を行っております。
入退場時の密集を回避するため、時間差による入退場のご協力をお願いする場合がございます。また、多人数の集合での入退場はご遠慮ください。
受付等でスタッフによる定期的な消毒を実施しておりますので予めご了承ください。
<b>▶開催時（入場時）について</b>
入場時等に検温、自覚症状（風邪症状、具合が悪い、味覚障害等など）の確認を実施しております。発熱、自覚症状のある方は入場を認めない場合がございます。
イベント開催時ではマスクの着用、こまめな手洗い、咳エチケットのご協力をお願いいたします。 会場入口に消毒設備を設置しておりますので、消毒のご協力をお願いいたします。 また、マスクを着用していない場合、スタッフよりお声がけをさせていただく場合がございます。
大声によるご発言や会話はご遠慮ください。これらの行為が確認された場合はスタッフよりお声がけをさせていただきます。
イベント開催時では着席にてご聴講いただきますようお願いいたします。
会場内での飲食についてはお断りしております。ご協力をお願いいたします。なお、ゴミ箱等は設けておりませんので、各自お持ち帰りいただきますようお願いいたします。

# イベント開催時のチェックリスト

様式2

【第2版（令和4年1月版）】

## 開催概要

本項目では、チェックリストを記入する前に、イベントの情報をご登録ください。

## イベント名

第4回アジア・太平洋水サミットの関連イベント  
水辺を活かした賑わいづくりシンポジウム in Kumamoto  
[https://www.city.kumamoto.jp/kankyo/hpkij/pub/detail.aspx?c\\_id=5&id=39571](https://www.city.kumamoto.jp/kankyo/hpkij/pub/detail.aspx?c_id=5&id=39571)

## 出演者・チーム等

基調講演：星野 裕司氏（熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 准教授）  
パネルディスカッション：田中 尚人氏（熊本大学熊本創生推進機構 准教授）、星野 裕司氏、南 良輔氏（城見町全栄会 会長）、ジェイソン・モーガン氏（（株）Shirakawa Banks 代表）、星子 和徳氏（熊本市 中央区長）、上村 雅文氏（国土交通省 九州地方整備局 河川部 河川環境課 課長）

## 開催日時

令和4年2月12日 13時30分 ～ 15時30分

## 開催会場

熊本城ホール 3F A3・A4会議室

## 会場所在地

熊本県熊本市中央区桜町3番40号

## 主催者

国土交通省 九州地方整備局

## 主催者所在地

福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号 福岡第二合同庁舎

## 主催者連絡先

(電話番号)  
092-476-3525

(メールアドレス)  
[toujou-t8910@mlit.go.jp](mailto:toujou-t8910@mlit.go.jp)  
(河川部河川環境課 調査係長 東城)

## 収容率(上限)

100% (※)  
(大声なし)

人と人が触れ合わない  
程度の間隔

50% (※)  
(大声あり)

十分な人と人との間隔  
(できるだけ2m、最低1m)

## 収容人数

609人

## 参加人数

120人

## その他特記事項

基調講演とパネルディスカッションの内容であること、参加は事前予約制で少人数（80名定員）の募集であること、参加者の発言はないこと（聴講のみ）、音楽は開始前のBGMのみで最小限の音量であること、参加者が大声で話など行った場合スタッフが注意喚起する体制を整えていること等から、大声無しのイベントと判断した。

(※) 大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当することと整理する。

# 感染防止策チェックリスト

【第2版（令和4年1月版）】

## 基本的な 感染防止

イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。

※5,000人超のイベント（大声なしの担保が前提）開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。

①飛沫の抑制（マスク着用や大声を出さないこと）の徹底



【大声なしの場合】  
飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク（品質の確かな、できれば不織布）の正しい着用や大声（※）を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる。

（※）大声の定義を「観客等が、①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」とする。

【大声ありの場合】  
「大声なしの場合」の「大声」を「常時大声を出す行為」と読み替える。

②手洗、手指・施設消毒の徹底



こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す（会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施。）。



主催者側による施設内（出入口、トイレ、共用部等）の定期的かつこまめな消毒の実施。

③換気の徹底



法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又はこまめな換気（1時間に2回以上・1回に5分間以上等）の徹底。

④来場者間の密集回避



入退場時の密集を回避するための措置（入場ゲートの増設や時間差入退場等）の実施。



休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や動線確保等の体制構築。



大声を伴わない場合には、人と人が触れ合わない間隔、大声を伴う可能性のあるイベントは、前後左右の座席との身体的距離の確保

# 感染防止策チェックリスト

【第2版（令和4年1月版）】

## 基本的な 感染防止

イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。

※ 5,000人超のイベント（大声なしの担保が前提）開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。

### ⑤ 飲食の制限

- 飲食時の感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底。
- 飲食中以外のマスク着用の推奨。
- 長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外（例：観客席等）は自粛。
- 自治体等の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断（提供する場合には飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討。）。

### ⑥ 出演者等の感染対策

- 有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常から出演者やスタッフ等の健康管理を徹底する。
- 練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。
- 出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる（誘導スタッフ等必要な場合を除く。）。

### ⑦ 参加者の把握・管理等

- チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握。
- 入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止。
- 時差入退場の実施や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起。

上記に加え、各業界が定める業種別ガイドライン（該当する業種において策定されている場合）を遵守すること。